

# 氷ノ山の蛾類について (第二報)

山 本 義 丸

本誌前号 (1955) に氷ノ山の蛾類について1954年夏の採集結果を報告したが、1955年もまた8月16~19日及び9月23~25日の2回にわたり前年と全く同様の方法で氷ノ山に採集を行ったので、ここにその結果をまとめて報告する。9月の場合は登る時から雨に悩まされ、次の夜も低温に加えて風が出るという悪天候のために収獲は10種に満たなかつたが、8月にはかなりの成績をあげることができた。特に16日、夕方小さな夕立の後で無風状態となり、遅くには霧が立ちこめたけれども誘蛾灯への蛾の飛来は極めて多かつた。ここに掲げる目録は第一報に追加するものであるが、分布上注目を要するものが少ない。氷ノ山は蛾の産地として相当に面白い所であつて、更に調査を進める必要があるように思われる。なお前年は1頭も姿を見せなかつた所のヤガ科のCatocalaの類が今回は数多く採集されたことが興味を引くが、これは季節の進み方がずれていたためであろうか。また余談ながら、9月24・25両日は雲薄く晴れ草原には日中もカンタンの鳴声が絶えず、草むらを一網すくうと数頭入つていることもあつた。

本文に先立ち、一部標本の同定並に助言の労をとられた井上寛・杉繁郎両氏に対して深く感謝する。

## 目 録

各科ごとに種に附けた番号は便宜上第一報に続く一連のものとする。また前報のものを引用する時はその番号を用いてある。特記するもの以外はすべて8月の採集品である。山麓地帯のものは含まない。

### ARCTIIDAE ヒトリガ科

13. *Miltochrista pulchra* Butler  
ゴマダラベニコケガ

### NOCTUIDAE ヤガ科 (=PHALAENIDAE)

75. *Chloridea assulta* Guénée タバコガ  
76. *Agrotis dewitzi* Graeser モンキヤガ  
3♂♂。北海道には普通のようなものであるが本州では山地性である。  
77. *Polia goliath* Oberthür オオシモフリヨトウ  
1♂。本種も北方系のもので、前の種と共に県下の他の産地を知らない。  
78. *Eriopyga divergens* Butl. コフタオビキヨトウ  
79. *Cirphis flavostigma* Bremer マダラキヨトウ  
80. *Amphipyra erebina* Butl. オオウスズマガラス

81. *Amphipyra corvina* Motschulsky カラスヨトウ  
82. *Amphipyra pyramidea* Linné シマガラス  
83. *Perigea cyclica* Hampson シロテングロヨトウ  
84. *Callogonia virgo* Treitschke  
ウスムラサキウワバ  
85. *Bryophila leprosa* Warren  
イチモシキノコヨトウ  
86. *Triphaenopsis lucilla* Butl. シロホシキシタヤガ  
5♂♂3♀♀。色彩斑紋に変化が多く、どの個体も互に多少異つている。氷上郡では篠ヶ峯で採集している。  
87. *Triphaenopsis cinerescens* Butl.  
ウスキシタヤガ  
前種に似ているが斑紋が淡く、前翅第1室に黒条が明らかである。1♂採集したが、これは氷上郡からは未知である。  
88. *Moma alpium* Osbeck ゴマケンモン  
89. *Moma champa* Moore キバラケンモン  
90. *Acronycta incretata* Hamps. リンゴケンモン  
91. *Acronycta alni* L. ハンノケンモン  
1♂1♀。本種は北国に普通のものでヨーロッパまで分布する。  
92. *Acronycta subpurpurea* Matsumura  
ウスムラサキケンモン  
1♂。北海道から記載された種で、多くないようである。前の種と共に氷上郡からは未知である。  
93. *Prodenia litura* Fabricius ハスモンヨトウ  
94. *Hydroecia fortis* Butl. ゴボウトガリヨトウ  
北国に普通の種であるが氷上郡からは未知である。9月23日夜雨の中を1♂が地藏堂内の灯火に飛来した。  
95. *Dadica truncipennis* Hamps.  
ヒメサビスシヨトウ  
96. *Chasminodes cilia* Staudinger ウススジギンガ  
4♂♂。  
97. *Chasminodes nervosa* Butl. ウラギンガ  
1♂2♀♀。前種と共に本州では山地に産し、いずれも氷上郡では採集していない。  
98. *Chasmina biplaga* Walker コマルモンシロガ  
99. *Stenoloba confusa* Leech アミメコヤガ  
100. *Lamprothripa lactaria* Graes.  
コマバシロキノカワガ  
101. *Blenina senex* Butl. キノカワガ

102. *Gabala argentata* Butl. ハイイロリンガ  
 103. *Gelastocera duplicata* Wileman  
 カバイロリンガ  
 3♂♂. 本種も氷上郡からは未知である。  
 104. *Macrochthonia fervens* Butl. カマフリンガ  
 105. *Catocala patala* Felder キシタバ  
 106. *Catocala fraxini jezoensis* Matsum.  
 ムラサキシタバ  
 1♂. 大形の美しい蛾で、原種はヨーロッパに産し、シベリヤから北日本に分布する。筆者は長野県菅平高原で採集したことがある。  
 107. *Catocala rutha* Wilem. ヨシノキシタバ  
 白井忠治(1953)関西蛾類図説(1)、蝶と蛾3(4)、25~28. 1911年ワイルマンにより吉野山から得られた1♀によつて記載されたものである。その後は上記白井氏により大峯山から報告されているだけの稀種である。氷ノ山は第三の産地となる。8月16日に1♂を採集した。  
 108. *Catocala nubila* Butl. ゴマシオキシタバ  
 1♂3♀♀. 北海道及び本州に産するが少い種である。  
 109. *Catocala jonasi* Butl. シヨナスキシタバ  
 1♂. 本種も北海道・本州に産しあまり多くない種である。  
 110. *Catocala dissimilis* Brem. エゾシロシタバ  
 4♂♂. 北海道には普通のようなものであるが本州では山地に産する。  
 上記の5種はいずれも県下の他の産地を知らない。  
 111. *Cocytodes coerulea* Guén. フクラスズメ  
 112. *Enmonodia vespertilio* Fabr. カキバ  
 113. *Speiredonia japonica* Guén. トモエガ  
 114. *Plusia peponis* Fabr. ウリキンウワバ  
 115. *Plusia pyropia* Butl. セアカキンウワバ  
 116. *Plusia pulchrina* Haworth アカフキンウワバ  
 2♂♂. シベリヤからヨーロッパまで分布する美しい種で、氷上郡からは未知である。  
 117. *Trisuloides caliginea* Butl. コウスベリヤガ  
 118. *Sypna obscurata* Butl. ハガタグチバ  
*S. picta* Butl. シラフクチバに似るが、やゝ大形で斑紋には変異が多く、前翅に大形白斑をもつもの、暗緑灰斑をもつもの、これを欠くもの等がある。比較的少い種らしいが、今回は6♂♂3♀♀を採集した。  
 119. *Sypna hercules* Butl. ヨコシマクチバ  
 1♂. 本種も少い種であつて、前の種と共に県下の他の産地を知らない。  
 120. *Erygia apicalis* Guén. アカテンシタバ  
 121. *Dinumma deponens* Walk. ウスヅマガラス

122. *Chrysothrum amata* Brem. et Grey  
 カクモンキシタバ  
 123. *Blasticorhinus ussuriensis* Brem.  
 コウンモンクチバ  
 124. *Oraesia lata* Butl. オオエグリバ  
 125. *Pangrapta umbrosa* Butl.  
 シロモンツマキリアツバ  
 126. *Pangrapta vasava* Butl.  
 ミツボシツマキリアツバ  
 127. *Falcimala japonica* Butl. クロミツボシアツバ  
 LYMANTRIIDAE ドクガ科  
 7. *Arctornis L-nigrum* Müller エルモンドクガ  
 8. *Maimaia furva* Leech ウチシロマイマイ  
 9. *Euproctis nipponis* Bntl. クロモンドクガ  
 SPHINGIDAE スズメガ科  
 3. *Herse convolvuli* L. エビガラスズメ  
 4. *Meganoton scribae* Austant  
 エゾシモフリズズメ  
 5. *Hemaris fuciformis* L. クロスキバホウシヤク  
 6. *Hemaris radians* Walk. スキバホウシヤク  
 7. *Theretra oldenlandiae* Fabr. セスシズズメ  
 EUPTEROTIDAE オビガ科  
 2. *Apha hyalinata* Butl. スカシサン  
 本州・九州の山地に産し比較的稀な種である。地藏堂附近の草原で静止している1♂を採集した。県下に他の産地を知らない。  
 NOTODONTIDAE シヤチホコガ科  
 (= CERURIDAE)  
 18. *Stauropus fagi persimilis* Butl. シヤチホコガ  
 19. *Nerice bipartita* Butl. ナカスジシヤチホコ  
 1♀. 本州では山地性で多くない。県下、段ヶ峯で採集したが氷上郡では未知である。  
 20. *Nadata splendida* Oberth.  
 アオセダカシヤチホコ  
 21. *Melalopha anachoreta* Fabr.  
 ツマアカシヤチホコ  
 22. *Desn.eocraea pryeri* Leech  
 プライヤシヤチホコ  
 1♂1♀. 北海道では普通であるが本州では山地性となる。幼虫はブナの葉を食すると云うから、県下での産地は限られよう。勿論氷上郡からは未知である。  
 23. *Uropygia meticolodina* Oberth.  
 ムラサキシヤチホコ  
 1♂. これもあまり多くない種であるが、柏原でも採集している。  
 GEOMETRIDAE シヤクガ科  
 78. *Ourapteryx nivea* Butl.  
 ウスキツバメエダシヤク  
 9月に1頭採集した。平地にも産する。  
 79. *Thinopteryx delectans* Butl.  
 ミヤマツバメエダシヤク

80. *Corymica specularia pryeri* Butl.  
ウコンエダシヤク
81. *Crypsicometa incertaria* Leech  
ツマキウスグロエダシヤク
82. *Ennomos autumnaria nephrotropa* Prout  
キリバエダシヤク  
3 ♀♀. 北国に普通の種であつて、氷上郡からはまだ採集されない。
83. *Duliophyle agitata* Butl. ヒロオビエダシヤク  
「第一報」の(15)はオオトビエダシヤクである。両種共に氷上郡にも産する。
84. *Xandrames latiferaria* Walk.  
タイワンヒロオビオエダシヤク  
本種は「タイワン」の名を冠しているが、氷上郡にも産し北海道まで分布する。
85. *Alcis angulifera* Butl. ナカウスエダシヤク  
9月に1頭採集した。氷上郡にも稀でない。
86. *Rhynchobapta cervinaria bilineata* Leech  
フタスジオエダシヤク  
1 ♀. 本種は氷上郡からは未知である。
87. *Lobogonodes erectaria* Leech  
キボソスジナミシヤク
88. *Gandaritis fixseni magnifica* Prout  
キマダラオオナミシヤク
89. *Lygris convergenata* Brem.  
ヨコジマナミシヤク
90. *Calleulype placida propinqua* Butl.  
キベリシロナミシヤク
91. *Acasis viretata* Hübner ルリオビオナミシヤク  
山地性で氷上郡からは未知である。
92. *Sterrha foedata* Butl.  
クロテントビヒメシヤク
93. *Timandromorpha discolor enervata* Inoue  
ノコバアオシヤク  
1 ♂. 九州から井上氏によつて記載された種である。東京の高尾山でも採れている。氷上郡では1954年5月及び8月に妙高山で4頭採集している。
94. *Comibaena delicatior* Warren  
クロモンアオシヤク
95. *Geometra dieckmanni* Graes.  
カギシロスシアオシヤク
- (17.) *Ectropis albipunctata* Inoue  
シロテントビスエダシヤク  
本種は「第一報」において *E. extersaria obscurior* Staudinger シロモンキエダシヤクとして記録したが、その後井上氏によつて新種として記載された。(1955)産地は奥多摩・三峯山・熊ノ平・氷ノ山が記録され、氷ノ山の1 ♀ (22. Aug. 1954) は別模式標本 (Allotype) となつている。筆者は2 ♀♀を所持している。
- (65.) *Sterrha terpnaria* Prout  
クロオビキヒメシヤク  
本種は「第一報」においては(?)を付けて記録しておいたが、その後井上氏によつて正式に記録せられ、また上記の和名がつけられた。従来はウスリー地

方より知られ日本未記録であつた。井上氏により今回記録された産地は高尾山・長野県野尻湖・軽井沢・福井県大野湯・伯耆大山及び氷ノ山である。

#### URANIIDAE ツバメガ科

4. *Epiplema cretacea* Butl. スジシロフタオ  
1 ♀. 氷上郡からは未知である。

#### LASIOCAMPIDAE カレハガ科

3. *Eriogaster brevivenis* Butl. ギンモンカレハ  
15 ♂♂. 北海道及び本州・四国の山地に産し、氷上郡では採集していない。色彩斑紋に変異が多い。

#### COCHLIDIONIDAE イラガ科

3. *Kitanola uncula* Stauding. マダライラガ  
本種は1954年に採集した小形の種で、柏原にも産する。斑紋にやゝ変異がある。

#### DREPANLIDAE カギバ科

9. *Callicilix abraxata* Butl. マダラカギバ  
3 ♀♀. 北海道には普通のものである。県下の他の産地を知らない。一見シヤクガのようである。
10. *Hypsomadius insignis* Butl. アカウラカギバ

#### AEGERIIDAE スカシバガ科

1. *Bembecia contracta* Walk. セスジスカシバ  
1 ♂ 1 ♀. やゝ大形のスカシバで氷上郡からは未知である。

#### PYRALIDAE メイガ科

1. *Crocidophora evonoralis* Walk. セスジノメイガ  
以下いずれも1954年の採集による。
2. *Syllepte deficiens* Moore シロハラノメイガ
3. *Cataprosopus monstrosus* Butl.  
マエグロトガリメイガ
4. *Macalla amica* Butl. オオフトメイガ
5. *Macalla margarita* Butl. ナカシロフトメイガ
6. *Stericta atribasalis* Hamps. ネグロフトメイガ  
前の種と共に氷上郡からは未知である。  
本科の採集はまだ不充分である。

#### ORNEODIDAE ニジユウシトリバガ科

1. *Orneodes japonica* Matsum.  
ヤマトニジユウシトリバ  
9月23日夜雨の中をかなり多く灯火に飛来した。特異な翅形の小蛾である。氷上郡からは未知である。

#### 【附 記】

#### NOCTUIDAE ヤガ科

- (22.) *Euplexia aureopuncta* Hamps.  
モンキアカガネヨトウ  
2 ♂♂. 今回も採集した。山地性。
- (30.) *Harrisimemna marmorea* Hamps.  
スギタニゴマケンモン  
11 ♂♂. 氷ノ山には少くないようである。早がまだ採れない。山地性。